

令和7年度 高千穂町立上野小学校評価書 (R8年2月評価)

[4段階評価]	4…期待以上	3…ほぼ期待通り	2…やや期待を下回る	1…改善を要する
---------	--------	----------	------------	----------

	重点項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価	学校関係者の評価コメント
学びづくり	児童一人一人を大切に した個に応じた授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の日々の学習状況や各種学力検査等の結果を分析し、「分かる・できる授業」を展開する。</li> <li>○ 体験的な学習や問題解決的な学習を推進する。</li> <li>○ 少人数を生かし、対話による学び合いを意識した授業を行うことで、自分の考えを深めたり広げたりする児童を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援訪問や校内授業研究会を通して、6年間を見通した学習指導について研修を深めることができた。</li> <li>○ 授業の中で、児童同士が対話する場面を設定することを全学年で共通実践したことで、なかまとなって学び合う児童の姿が見られた。</li> </ul>	3	3	
	ICTを活用した授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTを効果的に活用し、児童が主体的に学ぶ授業づくりを推進する。</li> <li>○ 学習の個別最適化を推進するために、一人一台タブレットを活用した授業実践を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ teamsを活用した授業を行うことができ、対話的な授業につなげることができた。</li> <li>○ 児童が、タブレット操作に慣れてきて、webテストを行うことができた。</li> </ul>	4	4	・参観日などでICTを活用する様子が見られました。
	家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習指導週間」の実施や、家庭学習の取組方の紹介による保護者の家庭学習への啓発を図る。</li> <li>○ 学期の終わりに学習コンクールを行い、学習内容の定着と、児童の学習意欲の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎学期最初の週に「学習指導週間」を実施し、学年に応じた学習指導の確認を行うことができた。宅習の仕方を児童や家庭向けに紹介することで、家庭への啓発を行った。</li> <li>○ 学期の終わりに学習コンクールを行うことで、児童の学習の定着を図ることができた。また、学習コンクールが児童にも定着してきたことで、学習への意欲が図られた。</li> </ul>	3	3	
	読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年生や図書委員会、読み聞かせグループ「おはなしの森」の方による読み聞かせを行うことによって、読書に親しませる。</li> <li>○ やまびこ文庫を利用することによって、学級の文庫を充実させる。</li> <li>○ 学期ごとの学年の読書数の目標を設定させることによって、読書に対する意欲を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各読み聞かせ活動を行うことによって、読み聞かせをする側もしてもらう側も本に親しむ機会となり、お互いに良い効果が出てきた。</li> <li>○ 計画的にやまびこ文庫を入れ替えることにより、上野小学校にない本にも触れる機会となっている。その結果児童がいろんな本に触れることができている。</li> <li>○ 学期ごとの学年の読書数の目標を設定し、途中経過も発表していくことにより、普段あまり図書館に来ない児童も来る機会が増えた。全体の読書数も増えた。</li> </ul>	4	4	・昨年も読書については充実した活動が行われていたが、今年は貸出の数や、選書会など更に充実した活動が出来ていたと評価します。

	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域人材を活用した「ふれあい教室」や「上野ハローワーク」を実施する。</li> <li>○ キャリアパスポートを活用することで、目標をもって物事に取り組むよさや、自己の成長に気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科の学習と関連付けながら、キャリア教育の推進を図ってきた。</li> <li>○ 「ふれあい教室」では、地域の方々との交流を深めることができた。</li> <li>○ 「上野ハローワーク」では、低学年は、相撲体験、高学年は、地元企業に來校いただいた。</li> <li>○ 行事等でキャリアパスポートを効果的に活用することができ、目標をもって自己の成長のために努力する姿勢が見られた。</li> </ul>	4	4	・活動の様子を学校掲示板や新聞、コミュニティ通信などで見せていただいた。発表会の中でも様子が伺え素晴らしい活動が行われていたと思います。
	特別の教科「道徳」の授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間指導計画に基づいて、計画的に授業を行う。</li> <li>○ 校内で、道徳の授業についての情報を交換することで、授業力を向上する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、年間指導計画に基づいて、計画的に授業を行うことができ、板書や発問の工夫が見られた。</li> <li>○ 道徳の授業の情報を交換することができ、授業力の向上を図ることができた。</li> </ul>	4	4	
ふれあ	豊かな心を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「お芋学習」「お米学習」などの地域との連携学習や「棒術」「人形浄瑠璃」「上野白太鼓踊り」「神楽」などのふるさと学習を通して地域のよさを知り、発信する。</li> <li>○ 沖縄県豊見城市との「エイサー」を通じた交流学习を実施する。</li> <li>○ サルタフェスタやふれあい夜市など「エイサー」を通して地域との交流を図る。</li> <li>○ ふれあい教室や運動会、学習発表会等の行事を各教科と関連付けることで、児童の豊かな心（愛校心）を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エイサー交流では、豊見城市と連絡を取り合いながら充実した活動を実施することができた。</li> <li>○ ふれあい夜市、サルタフェスタ、運動会にて練習に励んだエイサー披露することができ、地域との交流を図ることができた。</li> <li>○ 棒術、上野白太鼓踊りでは、地域のお師匠さんの力をお借りして、練習に取り組むことができた。</li> <li>○ 人形浄瑠璃では、児童の祖父に依頼して、人形浄瑠璃に関する講話を実施することができた。</li> <li>○ JAの青年部や地域の方々の協力を得て、「芋植え」「芋掘り」「焼いも」などの活動を充実させることができた。</li> </ul>	4	4	・この学校ならではの伝統を受け継いでいく様子や、実際の発表を見て、改めて子供たちの頑張りや地域の方々を含む周りの大人の協力体制に頭の下がる思いでした。是非、続けていただきたい。
	レジリエンスや非認知能力を高める教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業における立腰教育を推進する。</li> <li>○ 学級通信の中で、個人の頑張りや学級での関わりを記載することで、信頼感や有能意識を高める。</li> <li>○ 小さな目標を立て達成することで、充実感や達成感をもたせる。また、目標達成までの過程を大切にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 号令の際は姿勢を正しているが、授業中は姿勢が崩れていた。学習指導週間等を通して継続的な指導が必要である。</li> <li>○ 個人が特定されることがないよう学級全体の活躍を中心に記載していた。また、活躍を賞賛する場として表彰集会を設けている。</li> <li>○ テスト前後に目標を立て、達成に向けて意欲をもてるよう指導を行っている。また学習コンクール週間を設け、目標達成後は全体の前で賞賛される場を設けることで充実感や達成感がもてるようにしている。</li> </ul>	3	3	

	異学年と交流し、合同で取り組む活動・行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の方を交えた玄武タイムや異学年による縦割り清掃で、花壇の整備や清掃活動を実施する。</li> <li>○ 始業式や終業式、運動会や学習発表会等の学校行事を通して、異学年児童が協力し、共通の目標を達成する喜びを味わえるようにする。</li> <li>○ 給食時の校内放送では、共通の内容や話題等、児童の交流が図られる企画を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民生委員や高齢者クラブの方々の協力を得ながら、玄武タイムを計画的に実施することができた。</li> <li>○ 運動会は、小学校単独での大きな行事ということで、「上野語り場」(児童・保護者・地域)での意見を取り入れて計画をし、実りある活動を行うことができた。</li> <li>○ 児童による工夫の凝らされた放送で、給食時間を充実させたものとすることができた。</li> </ul>	4	4	・地域の方々子供たちや先生方の中に溶け込んで活動されており、地域が学校を、また学校が地域を思う様子が感じられました。
	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「上野流清掃の心得」を清掃前に放送で聞き、無言清掃の質を高める。</li> <li>○ 玄関前掲示では、担当学年や委員会で計画的に、時季や行事に合わせた掲示物を作成する。</li> <li>○ 児童の作品や各種大会・コンクール等の賞状を掲示し、掲示教育を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送は昨年度から引き続き行っているが、無言清掃の意識は低学年ほど低くなっている。</li> <li>○ 先生方の協力により、児童や地域の方、保護者が足を止めて見てくださるほど素敵で掲示ができています。</li> <li>○ 各学年の掲示板や校長室前の掲示板を活用し、作品や活躍を掲示することができています。</li> </ul>	3	4	・普段見ることができない活動や子供たちの様子がたくさん掲示されており、学校を訪れた時に掲示板を見るのがとても楽しみです。
	体力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力向上プランを作成し、体育や保健体育の授業を中心に活用し、児童の体力向上を図る。</li> <li>○ 朝の時間を活用し、「ランランタイム」「ジャンプタイム」を実践し、体幹を鍛える。</li> <li>○ 運動会や体育的行事の充実を図る。</li> <li>○ 外遊びを奨励し、自力登校を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者の方々と協力し、児童が達成感や満足感を味わうことのできる体育的行事を行うことができた。</li> <li>○ 学年部合同の体育授業を行い、体力向上を図り、授業の充実を図ることができた。</li> <li>○ 朝の時間を活用し、体力向上の取り組みを実施することができた。</li> <li>○ 委員会や学年部で、遊びを計画し、学年の垣根を越えて遊ぶ姿が見られた。</li> </ul>	4	4	
体づくり	健康・安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通教室や避難訓練を実施し、自ら危険を回避する能力を育成する。</li> <li>○ 校舎内及び遊具等の安全点検を月1回実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画通り実施した。</li> </ul>	4	4	
	食育に関する指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お弁当の日など児童が料理を自分で作る取組を実施する。</li> <li>○ 栄養教諭や外部講師を招いた食育を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3学期の遠足で「お弁当の日」を実施する予定である。</li> <li>○ 4～6年生を対象に、食に関する指導「モーモー教室」を実施した。本町総合政策課より県内企業の紹介があり、希望したが返答がなく、現在保留となっている。</li> <li>○ 3学期に、給食試食会および給食感謝週間の取組み、5・6年生を対象に、栄養教諭を招いた「お弁当づくり」に関する授業を計画している。</li> </ul>	4	4	
地域と連携した学校づくり	ふるさと学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふるさとのことを深く知るために、社会科、生活科、総合的な学習の時間において、見学、講話、校外学習、体験活動などを積極的に取り入れる。</li> <li>○ 各教科と関連付けて「GIAHS(世界農業遺産)」を題材として授業を行う。(お芋学習やお米学習など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふるさとのことを深く知るために、各教科の授業で取り扱ったり、釣り体験や川の学習、しめ縄作りなど、様々な体験活動を実施したりすることができた。</li> <li>○ 総合的な学習を関連付けながら「GIAHS」の学習を進めた。地域を知り、他地域と比較することで、故郷に誇りをもつ児童の育成に繋がった。</li> </ul>	4	4	・ふるさとを知ること、誇りをもつこと、とても大事な事だと思います。充実した活動ができていたと評価します。

	<p>伝統芸能の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「棒術」や「神楽」「臼太鼓踊り」「エイサー」を運動会や学習発表会で保護者や地域の方に披露する。</li> <li>○ 伝統芸能の指導者の方と打合せ会を行うことで、児童の関心・意欲や学習のねらいを指導者の方々と共有するとともに、練習日程や時間などを調整する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動会やサルタフェスタ、学習発表会を発表の場として取り組むことで、目標をもって練習に取り組み、披露をすることができた。</li> <li>○ 伝統芸能の指導者との打合せ会を行い、練習日程の調整や時間の確保、学習のねらいの共有を行うことができた。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が行っていた伝統芸能など、指導者との協議を重ね、小学生でも続けられるように工夫されていてとても感心しました。</li> </ul>
	<p>地域との連携・協働と地域行事等への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域学校協働活動推進委員と連携しながら、地域の人材を積極的に活用する。</li> <li>○ 春祭りや神楽等、地域行事に積極的に参加し、伝統芸能を継承したり、行事の準備や計画に加わったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域学校協働活動推進委員と連携し、地域の人材活用と地域との連携、協力をすることができた。ふるさと教育打合せ会を年度当初に行ったことで、年間の見通しを持って計画・運営に当たることができた。</li> <li>○ 積極的に地域行事や伝統芸能継承に励む児童の姿が見られた。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初にふるさと教育打合せを実施したことで、年間の見通しが関係者に周知できたことがとても良かったです。</li> </ul>
信頼される学校づくり	<p>教育の質の向上と児童の教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内研修を充実させたり、校外での研修や質の高い授業を参観したりすることで授業力を向上させる。</li> <li>○ ワークライフバランスを意識し、教職員の心身の健康増進を図る。</li> <li>○ 「チーム学校」として、児童を中心とした教育活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践に結びつくような校内研修を行ったり、校外での研修に積極的に参加したりすることにより授業力の向上につながることができた。</li> <li>○ 職員数減少による業務量の増加や時間外勤務により、教職員の多忙感是否めないが、互いに協力し合い、心身の健康推進を進めることができた。</li> <li>○ 不審者対応訓練やコンプライアンス研修等を行うことにより、児童の命や人権を守る上で必要な知識を得て教育活動に活かすことができた。</li> <li>○ 児童についての情報交換を密にし、チームとして学習指導や問題解決にあたることで、よりより教育活動を推進することができた。</li> </ul>	4	4	
	<p>家庭・地域への積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級通信やホームページ、PTA新聞等で情報を保護者、地域に発信する。</li> <li>○ 参観日やPTA総会、学校運営協議会等を通して、保護者や地域の意見を積極的に学校運営に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校からは学級通信、ホームページ、コミュニティスクール通信を通して発信できた。また、PTA新聞「みっとぎり」を学期1回発行することができた。</li> <li>○ 懇談や個人面談での要望を全職員で共通理解し、教育活動の改善に役立てることができた。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ通信や新聞等、地域に情報を発信されていたことがとても良かったです。是非、続けていただきたい。</li> </ul>
	<p>幼保小中の有機的な連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼保小中連携の研修に積極的に参加し、相互理解を深める。</li> <li>○ 学校行事や学習に招待するなど、校区内の保育園との交流を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夏休みの保育園訪問や幼保小中連携担当者会に参加し、相互の理解を深めることができた。</li> <li>○ 運動会やおもちゃ祭りなどに保育園年長児を招待して交流を深めることができた。また、中学校、高校に児童が作成した運動会の案内を送るなど情報発信したことで、卒業生も参加しやすい運動会となった。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中の連携については例年より更に活発に実施されていたと感じました。運動会では卒業生も交え、感動的な場面も見られました。</li> </ul>